

福岡県青少年健全育成アワード2024 受賞者

【模範青少年部門】

大谷小学校 緑の少年団 (林業振興課推薦)	…1頁
福岡県立筑紫中央高等学校 ダンス部 (県警本部推薦)	…1頁

【青少年の安全・安心な見守り活動部門】

少年を守るクロサキ環境浄化推進協議会 (県警本部推薦)	…5頁
戸畑警察署少年補導員連絡会 (少年警察ボランティア協会推薦)	…6頁
宗像警察署少年補導員連絡会 (少年警察ボランティア協会推薦)	…6頁
うきは警察署少年補導員連絡会 (少年警察ボランティア協会推薦)	…7頁

【青少年健全育成部門】

門司区青少年育成協議会連合会 (北九州市推薦)	…2頁
枝光北まちづくり協議会 青少年育成部会 (北九州市推薦)	…2頁
グランマキッチンカフェ (県警本部推薦)	…3頁
特定非営利活動法人 Wing-Wing (公益社団法人福岡県青少年育成県民会議推薦)	…3頁
久留米市和道会久留米東スポーツ少年団 (県警本部推薦)	…4頁
遊びの森クラブ (鞍手町推薦)	…4頁
築上町子ども会育成連絡協議会 (築上町推薦)	…5頁

【非行等からの立ち直り支援活動部門】

株式会社 NiCO (青少年育成課推薦)	…7頁
----------------------	-----

福岡県青少年健全育成アワード2024 受賞者概要

模範青少年部門

1

大谷小学校 緑の少年団

(北九州市戸畑区)

活動の目的は「自然を愛し、生物を大切に育てる心ととも
に、美しい学校環境づくりにより、豊かな子どもの育成を図る」と
しており、2010年の設立以降、5、6年生の「環境・栽培委員会」
の児童が中心となって、学年園や学校園での環境整備活動・プラン
ターによる環境美化活動に取り組み、地域の方々と協力して花苗の
植栽を行うなど、新たな地域の憩いの場となっている。

本年度は、北九州市人権擁護委員協議会主催の「人権の花」運動
の一環として、3年生が人権ひまわりの花の栽培を種まきから行っ
た。栽培する活動をとおして、友達と協力し合って栽培する素晴ら
しさ、命あるものを育てる喜びや命に感謝する気持ちなどを体得し
た。

また、低学年の生活科をとおして、卒業式や入学式に向けて一人
一鉢でチューリップを植え、心を込めて栽培することで感謝の気持
ちを伝える活動を行っている。



苗植えの様子



整備活動

2

福岡県立筑紫中央高等学校 ダンス部

(大野城市)

新体操部、ダンス同好会を経て、1992年にダンス部として発足し
た。ダンスを通じて、学校、大野城市、福岡を元気にしたいという
思いから、地域の行事やイベントに数多く出演し、会場を盛り上げ
たり、医療機関への慰問、小学校でのダンス教室を行うなど、地域
貢献活動及びボランティア活動を長年続けている。

小学校でのダンス指導では、児童がダンスの楽しさや、人と人との
ふれあいの楽しさを体験する貴重な機会となり、児童の心身の発
達に良い影響を与えるなど、青少年の健全育成に貢献している。

また、警察や行政と協働し、性犯罪防止や特殊詐欺防止などの各
種防犯キャンペーンの啓発活動を行い、その情報をSNSにて発信す
るなど、多くの青少年の模範となる活動を行っている。

今年度、新たに医療機関の訪問を行っているが、本取組について
も部員自らで考え実行したものであり、新たな取組の企画・立案も
主体的に実施している。



おおの山城大文字まつり



防犯啓発活動

青少年健全育成部門

3

門司区青少年育成協議会連合会 (北九州市門司区)

門司区内で青少年育成に関わる団体間の意見交換の場として、1976年に活動を開始。設立当初より、門司区の青少年育成事業の中心として各構成員と連携してきた。子どもたちに対しては、地域と関わり交流する機会を提供し、大人に対しては、講演会や研修を通じて、青少年の健全育成について考え、見つめ直す機会を提供している。

「門司区中学生・高校生意見発表会」は、今年度で10回目を迎え、その時々子どもたちが抱える様々な思いについて発表を行っている。子どもたちを取り巻く環境が日々変化する中で、青少年の健全育成について考える機会となっており、生徒にとっても、大勢の人の前での発表体験の場として貴重な機会となっている。

また、門司区内の活動だけでなく、他区と同団体や市青少年育成会協議会と連携し、市内で開催される北九州市の育成大会や健全育成キャンペーンにも参加するなど、青少年育成に鋭意取り組んでいる。



「第10回門司区中学生・高校生意見発表会」



イベントでの街頭啓発活動

4

枝光北まちづくり協議会 青少年育成部会 (北九州市八幡東区)

1964年に「枝光北青少年育成会」として発足時から60年の長きにわたり、「地域成人祭」や子どもたちが心に残った童話を朗読する「童話大会」を継続して開催するなど、積極的な青少年育成活動を行っている。

枝光北市民センター及び枝光北まちづくり協議会と連携し、地域全体で青少年健全育成活動を推進している。

「全市一斉夜間非行防止パトロール」では、各町内会防犯委員と一緒に活動するなど、地域と連携しながら育成活動に取り組んでおり、当パトロールと併せて「青少年問題懇談会」を開催し、学校との連携にも努めている。

「ふれあいDayキャンプ」は、枝光小学校の児童を対象としたDayキャンプであり、餃子作り等の体験活動を実施する機会としている。



ふれあいDayキャンプ



童話大会



地域成人祭

5

グランマキッチンカフェ (福岡市中央区)

学童保有利用率が低い地域性のなかで、共働きやひとり親世帯の保護者の支援、こどもたちの居場所づくりを提供することで、こどもたちの健全育成及び地域活性化を図る活動を行っている。

食事の提供、学習支援のほか、季節ごとの行事、防災訓練や健やかカルタ体験など多岐にわたる活動を取り入れ、地域行事にも積極的に参加することで、地域住民や行政、地元企業が同団体の支援を申し出るなど、地域一丸となった子育てコミュニティの中心を担っている。

こども食堂の活動では、共働き・ひとり親家庭等のこども向けに、食事の提供、お菓子作り等を行い、放課後のこどもの居場所づくりを行っている。

また、学習支援として、食事ができるまでの時間を活用し、ボランティアスタッフ・高齢者がこどもの学習のサポートも行っている。



食事の様子



学習の様子



レクリエーション

6

特定非営利活動法人 Wing-Wing (福岡市南区)

こどもたちに、茶育や花育をはじめとした体験活動を提供するほか、体験活動の担い手を育成している。

新たな価値を創造する力、対立やジレンマを克服する力、責任ある行動をとる力等を身に付けていくためには、リアルな体験活動が重要と言われており、当団体では、こどもたちに多様な体験活動を提供することにより、こどもの生きる力を育てている。

また、様々な事情により体験活動に親しむ機会の少ないこどもたちに体験活動を提供するべく、重度障がい者（やその兄弟姉妹）に体験活動を提供するほか、児童養護施設のこどもたちにも体験活動を提供し、体験格差の解消を図っている。

加えて、企業が実施する体験プログラムの企画・運営のサポートや、体験活動事業をサポートできるような人材の育成にも尽力している。



茶育



花育



食育

7

久留米市和道会久留米東スポーツ少年団

(久留米市)

1974年にスポーツ少年団として設立され、地元のこどもたちへの空手の指導を中心に、ドッジボール、スケート、マラソンなど多種多様なスポーツのほか、登山などの野外活動を通じて、心身の鍛錬、礼儀作法の習得、コミュニケーション能力の向上に努めている。

長年の取組により、こどもたちは様々な大会で優秀な成績を収め、空手の県代表選手や競輪選手を輩出するなど、地域のスポーツ振興及びスポーツ界の人材育成に大きく貢献している。

野外活動の登山は、自然に触れ合う機会づくりや、親子やこどもたち同士のスキンシップ・関係づくりを目的として、定期的に行っている。

また、長年、地域の清掃ボランティア活動に参加を続けており、地域貢献活動も積極的に行っている。



空手



ドッジボール



8

遊びの森クラブ

(鞍手郡鞍手町)

過疎が進み、児童数が極端に減少している室木小学校児童に、みんなで遊ぶ楽しさを提供している。活動のすそ野を広げ、室木小学校以外の児童も参加するようになり、多くの交流を実現している。

加えて、保護者や地域の人材を巻き込んで活動することで、保護者・地域・企業一体となって子育てに貢献している。

活動を室木小学校中心で行っているため、ボランティアでの環境整備等、学校に対しての貢献意識を醸成している。

こどもの人数が少なく、遊びが限定されているため、外遊びの機会提供を行うことによって、普段はできない体全体を使った体験の機会としている。毎回の活動で、児童と保護者・地域の方が一緒になって活動しており、また、この活動を体験した、中学生、高校生、大学生も参加し、こどもたちのよき見本として、健全育成に貢献している。



ペットボトルいかだ



カロリング



パン作り

9

築上町子ども会育成連絡協議会 (築上郡築上町)

町内児童の健全育成を目指し、様々な体験の場をつくっている。設立時より、スポーツ行事ではソフトボール大会、バドミントン大会、マラソン大会、文化行事ではカルタ大会を行っている。

昨今の少子化が進む中、試行錯誤を重ね時代にあった事業を企画し、親子で楽しめるバルーンアート教室や誰でもすぐに競技ができるアジャタ（玉入れ）大会等のイベントを実施している。

次世代の青少年健全育成を担う人材育成にも力をいれており、中高生から20歳までのクラブ員に研修やボランティア活動、また、子ども会事業の運営や大会での児童の育成や指導を実際に体験させることで育成者として大きく成長できるよう年間を通じて貢献している。

また、ジュニアリーダーが中心となって児童の世話・指導を行う宿泊型の研修である「インリーダー研修会」は、ジュニアリーダーの指導力、リーダー性が格段に成長できる研修となっている。



バルーンアート教室



インリーダー研修



10

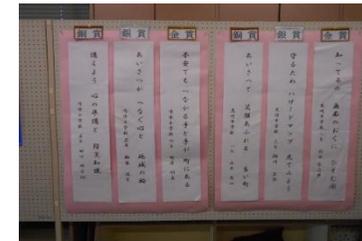
少年を守るクロサキ環境浄化推進協議会 (北九州市八幡西区)

1984年に、地域住民が中心となって黒崎地区内における青少年に有害な環境を排除し、青少年の健全育成を図り、豊かな心とたくましい体を育てることを目的に設立。

長年にわたり、街頭補導、登下校の見守り活動を中心に、美化活動など、有害環境浄化に関する取組を実施するほか、地域の小中学生を対象とした非行防止に関するポスター・標語コンクールを開催し、少年たちの非行防止への意識高揚、規範意識の醸成を図っている。

地域、学校、行政、警察と連携した有害環境浄化活動及び青少年健全育成活動を続けており、その熱心な活動を目にした住民らがボランティア活動に加わることで活動の輪が広がるなど、地域一丸となった少年たちを見守り育む環境づくりの原動力となっている。

上記のとおり、同団体を中心に地域活性化が図られ、少年たちが地域貢献活動に積極的に参加するなど、地域自治の精神が醸成されている。



ポスター・標語コンクール



11

戸畑警察署少年補導員連絡会

(北九州市戸畑区)

1967年の発足以来、57年の長期にわたり、街頭補導活動、見守り活動を中心とした各種活動を継続して行い、地域の少年の健全育成に尽力している。

他団体や学校教諭、PTAなどと連携して、主に夜間帯の駅や公園などを中心に街頭パトロールを行い、少年への声かけや指導を実施しているほか、青パトを活用した広範囲のパトロールも実施している。

小学生の登下校時及び小学校入学式、中学校卒業式当日に見守り活動も行い、児童生徒への挨拶、声かけを実施し、不審者対策のための周辺警戒時には補導活動も実施している。

毎年開催している「戸畑区健やかカルタ会」は、児童らが学校の垣根を越えて触れ合う事ができる場所となっており、居場所づくりや協調性の涵養、規範意識や社会性の醸成などの効果を生んでいる。



夜間街頭補導活動



登校時見守り活動



健やかカルタ会

12

宗像警察署少年補導員連絡会

(宗像市)

1967年の発足以来、少年の非行防止と健全育成を目的として街頭補導活動及び夜間パトロール、児童の見守り活動、環境美化活動等を継続実施している。

街頭補導・夜間パトロールや見守り、各種青少年健全育成活動を行う際には、各少年補導員が青少年及び児童に対して自ら積極的に声かけや挨拶をして会話に繋げており、これが青少年の社会性の涵養や児童の規範意識醸成に繋がっている。

また、2020年に実施した社会貢献活動としてのウォールアートの作成（落書き消し）では、少年補導員が中心となって警察、行政、学校関係者と調整を重ねて計画策定を行い、元継続補導少年の協力のもと落書きを消し、警察、地元中学生や大学生等も参加してウォールアートを完成させたものである。青少年が一同に会し協力して行った同活動は、社会貢献活動の意義や喜びを知ってもらう実践的な健全育成活動となった。



街頭補導・夜間パトロール



見守り活動



ウォールアート作成

非行等からの立ち直り支援活動部門

13	うきは警察署少年補導員連絡会 (うきは市)
-----------	---------------------------------

1969年の発足以来、54年の長期にわたり、街頭補導活動、見守り活動を中心とした各種活動を継続して行い、地域における少年の健全育成に尽力している。

警察と連携して、駅、公園を中心に夜間パトロールを行い、少年、児童への声かけや指導を実施しているほか、各地域で開催される祭りなどにおいては、学校関係者や地域住民と連携して補導活動を行っている。

学校周辺において、登下校時の見守り活動を行い、児童生徒に挨拶、声かけを実施している。

2011年から2019年にかけて行った、継続補導少年の立ち直り支援としての「うきは絆農園」活動は、年間を通して植え付けから収穫まで行い、収穫作物による炊き出しでのチャリティーまでを少年らと共に行う大掛かりな活動で、地域社会とのつながりや喜びを感じさせ、社会性や協調性を育むことで少年たちの立ち直りにも寄与した。



夜間パトロール



うきは絆農園



14	株式会社 NiCO (福岡市早良区)
-----------	------------------------------

2018年に、福岡保護観察所にて自立準備ホームとして登録。刑務所や少年院から出所したものの、住む場所がない、頼り先がない者に対して、保護観察所からの委託を受けて、住居を提供している。

支援対象者に住居・食事を提供するとともに、必要に応じて、行政手続・福祉サービス・生活保護の申請・病院受診の同行を行うなど、支援は多岐にわたっており、特性に応じてきめ細かな支援にも取り組んでいる。

また、同社は障がい者のグループホームも経営していることから、自立準備ホーム退所後に福祉サービスに移行する等により、福岡保護観察所の委託終了後も、社会に根付いた安定した生活を送るための支援を継続して行っている。

2018年5月から2024年10月までで、109名の受入実績があり、少年の気持ちに寄り添い、日々、熱心に対話を続け、信頼関係を築くことで、施設の出奔、反発を繰り返す者は少なく、様々な困難を抱えながらも、社会内でそれぞれ居場所を確立しており、その功績は顕著である。

また、地域の不動産会社を訪問し、青少年の立ち直りに理解のある会社を開拓し、地域との連携強化にも取り組んでいる。



住居提供の準備



活動の様子